

項目	内容																												
医薬品区分	一般用医薬品																												
薬効分類	かぜ薬																												
承認販売名																													
製品名	ミミトン I B																												
製品名（読み）	ミミトン I B																												
製品の特徴	・イブプロフェンの解熱・鎮痛作用により、かぜによる発熱・さむけ（悪寒）・頭痛・のどの痛みなどに効果があります。 ・8種類の成分がバランスよくはたらいて、かぜのいろいろな症状を緩和するかぜ薬です。 ・柑橘類などに含まれるビタミンPの一種であるヘスペリジンを配合しています。																												
使用上の注意	■してはいけないこと （守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります） 1. 次の人は服用しないでください （1）本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。 （2）本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。 （3）15才未満の小児。 （4）<u>出産予定日12週以内の妊婦。</u> 2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等（鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬、催眠鎮静薬等） 3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと。（眠気等があらわれることがある。） 4. 服用前後は飲酒しないこと。 5. 5日間を超えて服用しないこと。 ■相談すること 1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください （1）医師又は歯科医師の治療を受けている人。 （2）妊婦又は妊娠していると思われる人。 （3）授乳中の人。 （4）高齢者。 （5）薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。 （6）次の症状のある人。（高熱、排尿困難） （7）次の診断を受けた人。（甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、緑内障、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病） （8）次の病気にかかったことのある人。（胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病）																												
	2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください <table><tr><th>関係部位</th><th>症状</th></tr><tr><td>皮膚</td><td>発疹・発赤、かゆみ、青あざができる</td></tr><tr><td>消化器</td><td>吐き気・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、胃痛、口内炎、胸やけ、胃もたれ、胃腸出血、腹痛、下痢、血便</td></tr><tr><td>精神神経系</td><td>めまい</td></tr><tr><td>循環器</td><td>動悸</td></tr><tr><td>呼吸器</td><td>息切れ</td></tr><tr><td>泌尿器</td><td>排尿困難</td></tr><tr><td>その他</td><td>目のかすみ、耳なり、むくみ、鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、背中での痛み、過度の体温低下、からだがだるい</td></tr></table> まれに次の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。 <table><tr><th>症状の名称</th><th>症状</th></tr><tr><td>ショック （アナフィラキシー）</td><td>服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。</td></tr><tr><td>皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス・ジョンソン症候群）、中毒性表皮壊死融解症</td><td>高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。</td></tr><tr><td>肝機能障害</td><td>発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。</td></tr><tr><td>腎障害</td><td>発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。</td></tr><tr><td>無菌性髄膜炎</td><td>首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、吐き気・嘔吐等があらわれる。（このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている。）</td></tr></table>	関係部位	症状	皮膚	発疹・発赤、かゆみ、青あざができる	消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、胃痛、口内炎、胸やけ、胃もたれ、胃腸出血、腹痛、下痢、血便	精神神経系	めまい	循環器	動悸	呼吸器	息切れ	泌尿器	排尿困難	その他	目のかすみ、耳なり、むくみ、鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、背中での痛み、過度の体温低下、からだがだるい	症状の名称	症状	ショック （アナフィラキシー）	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。	皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス・ジョンソン症候群）、中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。	肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。	腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。	無菌性髄膜炎	首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、吐き気・嘔吐等があらわれる。（このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている。）
関係部位	症状																												
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、青あざができる																												
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、胃痛、口内炎、胸やけ、胃もたれ、胃腸出血、腹痛、下痢、血便																												
精神神経系	めまい																												
循環器	動悸																												
呼吸器	息切れ																												
泌尿器	排尿困難																												
その他	目のかすみ、耳なり、むくみ、鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、背中での痛み、過度の体温低下、からだがだるい																												
症状の名称	症状																												
ショック （アナフィラキシー）	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。																												
皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス・ジョンソン症候群）、中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。																												
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。																												
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。																												
無菌性髄膜炎	首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、吐き気・嘔吐等があらわれる。（このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている。）																												

心筋梗塞	しめ付けられるような胸の痛み, 息苦しい, 冷や汗が出る.
脳血管障害	意識の低下・消失, 片側の手足が動かしにくくなる, 頭痛, 嘔吐, めまい, しゃべりにくくなる, 言葉が出にくくなる等が急にあらわれる.
間質性肺炎	階段を上ったり, 少し無理をしたりすると息切れがする. 息苦しくなる, 空せき, 発熱等がみられ, これらが急にあらわれたり, 持続したりする.
ぜんそく	息をするときゼーゼー, ヒューヒューと鳴る, 息苦しい等があらわれる.
再生不良性貧血	青あざ, 鼻血, 歯ぐきの出血, 発熱, 皮膚や粘膜が青白くみえる, 疲労感, 動悸, 息切れ, 気分が悪くなりくらくとする, 血尿等があらわれる.
無顆粒球症	突然の高熱, さむけ, のどの痛み等があらわれる.

3. 服用後, 次の症状があらわれることがあるので, このような症状の持続又は増強が見られた場合には, 服用を中止し, この説明書を持って医師, 薬剤師又は登録販売者に相談してください。
便秘, 下痢, 口のかわき, 眠気
4. 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し, この説明書を持って医師, 薬剤師又は登録販売者に相談してください。

効能・効果	かぜの諸症状（鼻水，鼻づまり，くしゃみ，のどの痛み，せき，たん，悪寒，発熱，頭痛，関節の痛み，筋肉の痛み）の緩和		
効能関連注意			
用法・用量	年令	1回量	服用回数
	成人（15才以上）	2カプセル	一回量を1日3回食後なるべく30分以内に服用すること
	15才未満	服用しないこと	
用法関連注意	定められた用法・用量を厳守してください。		
成分分量	1日量（6カプセル）中		
	成分	分量	はたらき
	イブプロフェン	450mg	発熱，のどの痛み，頭痛，関節や筋肉の痛みに効果があります
	チペピジンヒベンズ酸塩	75mg	せきの中枢に作用してせきをしずめ，たんを切ります
	d l－メチルエフェドリン塩酸塩	60mg	気管支をひろげてせきをしずめ，たんを切ります
	クロルフェニラミンマレイン酸塩	7.5mg	抗ヒスタミン作用により，くしゃみ，鼻みず，鼻づまりの症状を抑えます
	無水カフェイン	75mg	脳の血管に働いて，頭痛をしずめます
	ヘスペリジン	90mg	ビタミン
	カンゾウ乾燥エキス （原生薬換算量 900mg）	180mg	かぜによるのどの炎症や痛みを抑えます
	キキョウ乾燥エキス （原生薬換算量 400mg）	89mg	たんをうすめて，たんの切れをよくします
添加物	ヒドロキシプロピルセルロース，乳糖水和物，結晶セルロース，パレイショデンプン，カルメロースカルシウム，ゼラチン・マクロゴール4000・酸化チタン・ラウリル硫酸ナトリウム（カプセル本体）を含む		
保管及び取扱い上の注意	(1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。 (2) 小児の手の届かない所に保管してください。 (3) 他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わるのを防ぐため） (4) 使用期限（外箱に記載）を過ぎた製品は服用しないでください。		
消費者相談窓口	連絡先:ワキ製薬株式会社 お客様相談室 住所: 奈良県北葛城郡広陵町南郷898 電話: 0120-200-114 受付時間: 午前9時から午後5時まで（土日祝日を除く）		
	その他: https://www.a-kusuri.co.jp/		
製造販売会社	会社名:ワキ製薬 住所: 奈良県北葛城郡広陵町南郷898		
剤形	カプセル剤		
リスク区分	第「2」類医薬品		